

寿都町総合体育館

■所在地	北海道寿都郡寿都町字開進町 187 番地 10	■木材使用量	595.63m ³
■設置者	寿都町	うち地域材	485.69m ³
■構造	木造一部RC造 2階建	■使用樹種	カラマツ、トドマツ、スギ
■延床面積	2,398.30m ²	建築面積	2,111.67m ²



◆施設の概要

平成25年度に森林整備加速化・林業再生事業を活用して、避難所としての機能を併せ持つ施設として建設いたしました。

「寿都町総合体育館」は、既設の寿都町民プールと一体的に建設され、スポーツはもとより、町民の健康づくりの場として、誰もが安全に利用できる施設となっています。

◆工法等の特徴

本施設では、主要な部材として、アリーナの梁に後志管内のカラマツ材から作られた大断面集成材を使用しています。構造上の特徴としては、集成材の梁を柱の上の4本の束で持ち上げるトラス工法により軽やかさを表現するとともに、より安定した強度確保と大空間を可能にしています。

また大断面の梁には寿都町総合体育館が子供たちの故郷での思い出の場所となるように、小学生から高校生まで約270名に将来の夢を刻んでもらいました。どなたでも2階デッキからご覧になることができます。

◆整備に当たり苦慮したこと

大量の木材を使用するため木材(特に大断面の集成材)の確保が容易ではありませんでした。また、アリーナの梁を組む際に、梁が重い大型クレーンの調達に苦慮したことや、風などの天候に左右され、工事が思うように進まず苦労しました。

◆利用者の声

「木がふんだんに使われており、木の香りがしてとても良い」「天井部分が鉄筋の体育館と比べて、明るく温かみを感じる」といった意見が寄せられています。